

人にやさしい高度な精神医療 心あたたかな地域づくりに貢献



明るく安らぎのある待合室



対人交流訓練を柱にするディケア



新しくなったホームページ



理事長・院長 土屋 潔

1988年北海道大学医学部卒業。北大医学部付属病院精神科神経科、市立室蘭総合病院、市立稚内病院の精神神経科医長を経て2001年から苦小牧緑ヶ丘病院院長。精神保健指定医、日本精神神経学会精神科専門医制度指導医。日本医師会認定産業医。医学博士。

医療法人 大島記念会 苦小牧緑ヶ丘病院

☎(0144)34-4761

苦小牧市清水町1丁目5番7号

→ホームページはこちらから



精神科・心療内科

診療時間/
月～金曜/9:00～12:00 13:30～17:00
(受付時間 8:30～11:30 13:15～16:30)
土曜/9:00～12:00
(受付時間 8:30～11:30)
休診日/日・祝日



医師を増員し診療体制を充実

「患者さんにやさしい病院」を理念として、①患者中心主義の医療展開②質の向上③地域に根差し貢献するーーを目標に掲げている。1963年6月開院。精神科医4名体制で診察。

同院は、市中心部に近く緑ヶ丘公園にも隣接し良好な環境。院内はホテルを思わせるロビー、プライベートに配慮した個室がある病棟、機能回復の訓練室（体育館）、ディケアセンターを備える。診療科目は精神科・心療内科。経験豊富で優れた知識と技能を持つ医師、看護師が患者と家族の立場になって、病を克服する患者を支援する。

入退院後も患者をサポート

入院中は、作業療法やレクリエーションにより、患者の気分転換や自信回復、意欲・自発性の向上を図

る。通常患者の日常に潤いをもたらすため、夏祭りやクリスマス会、家族を招いた食事会といった行事、サークル鑑賞や動物園散策といったイベントも行い、地域に出かけてやディケアで患者を支え、作業所や授産施設も紹介する。週一回「アルコール勉強会」も開き、断酒の継続治療も行っている。

現代病ともいわれるうつ病は、いまや5人に1人といわれる時代。特に40～50代に多く発症、自殺原因にもなり得る重大な疾患。土屋院長は「不眠や食欲不振、慢性疲労など軽度の症状でも我慢せずいつでも気軽に相談に来てほしい」と話す。院長をはじめ、同院の医師は市民講座や保健所での健康相談なども積極的に行い、地域のメンタルヘルスケアにも力を尽くしている。